議事録

会議の名称	令和２年度　第４回戸田市情報化推進計画検討委員会		
開催日時	令和３年１月２１日(木) 14:00～15:00	場所	Web 会議（Microsoft Teams） 戸田市役所本庁舎大会議室 AB
委員長氏名	吉浦　紀晃		
出席者氏名	学識経験者 埼玉大学　吉浦　紀晃		
	市民代表 Code for TODA　伊藤　利昭 国際交流協会　宇津　宏 IT ボランティアの会　清水　久雄		
	戸田市 危機管理防災課長　石原　亮 政策秘書室長　住野　昌洋 庶務課主幹（代理出席）　西山　玲子 経営企画課主幹（代理出席）　長谷川　昌之 税務課長　西口　学 市民課長　早川　和男 協働推進課長　遠藤　康雄 経済政策課副主幹（代理出席）　七種　紀行 障害福祉課長　鎌田　陽子 こども家庭課長　石橋　晴美 都市計画課長　熊木　智洋 教育総務課長　粟津　典浩 生涯学習課主幹（代理出席）　丸山　恵司		
事務局	総務部情報政策統計課　大山　水帆次長、山道　敏雄主幹、島田　敬生副主幹、平田純主任 ＩＴｂｏｏｋ株式会社　小林　啓男、西尾　新一、甲斐　実結		
配付資料	資料１：戸田市第３次情報化推進計画　本編（案） 資料２：戸田市第３次情報化推進計画　資料編（案） 資料３：戸田市第３次情報化推進計画　概要版		
議題	１．戸田市第３次情報化推進計画（案）について ２．その他		
議事録確定	３．令和３年２月８日　委員長氏名　吉浦　紀晃		

発言者	議事内容
事務局 **（戸田市）**	【１　開会】 【２　議事】 議題１　　戸田市第３次情報化推進計画（案）について …資料１、資料２、資料３について、事務局（戸田市、ＩＴｂｏｏｋ株式会社）より説明。 「資料１」に関して、以前の資料から主な修正箇所が３点ある。１点目は、目次３．２．２の庁内ヒアリングの主なポイントの文言変更、２点目は、目次４．５の基本目標・考え方毎の工程表への変更、３点目は、目次４．５の第５次総合振興計画との整合性を図るための関連部署・施策の追加である。その他、文章の体裁の調整を行った。パブリック・コメントの結果も反映する予定である。
委員長	議題１について、意見・質問等があれば発言していただきたい。 ６６ページ記載の「自治体 AI 協働開発推進事業」に戸田市も参加しているのではないか。
事務局 **（戸田市）**	参加している。
委員長	そうであれば、参加していると書くべきである。
事務局 **（戸田市）**	そのように記載を修正する。
委員長	市民委員の方から一人ずつ感想をいただきたい。
市民代表 **（伊藤氏）**	第２次情報化推進計画（後期）の完了率が高かったため、第３次情報化推進計画も期待しており、職員には努力して欲しい。計画の成果・進捗について市民の立場で厳しく評価したい。例えばデジタル化がどのようなものか、ハンコを押さないことやオープンデータの公開だけではデジタル化とは言えなく、それをどう利用していくかを、一緒に考えていきたいと思う。今回の検討委員会の参加だけで終わらずに、今後も Code for TODA の活動とともに、継続して戸田市の改善にかかわっていきたい。
市民代表 **（宇津氏）**	内容は総花的であまり頭に入ってこなかった。年ごとの重点目標が強調されていると良かったのではないか。また、実際に取り組みはあると思うが、外国人に対するサービスに関する記載が、今回の資料には殆どなかったので、取り組みをお願いしたい。
市民代表 **（清水氏）**	やはり総花的である。４章の４．２、４．３、４．４が分かりにくいため、まとめ方を考えて欲しい。その点は概要版の方が、重点施策が強調されており分かりやすかった。全体的な重要施策として、行政サービスの向上と庁内の効率化共にキャッシュレス化が多くの部分を占めていると思われる。その点、検討との記載が多かったので、施策への反映を考えて欲しい。高齢者や情報弱者への言及がより多くあっても良いと思われる。
委員長	あまり具体性が無く良し悪しが分からない部分が多いと思われる。コストについて触れられていないが、計画を先に策定してしまうと縮小などが難しいので、コストを考慮したうえで計画を策定しても良いのではないか。 全体的に文章をブラッシュアップした方が良い。 中身に関しては、メリットのみ書かれておりデメリットの記載がないため反対する人

	はいないと思われるが、コストを考えると反対意見が出るのではないか。 また、キーワードとして「デジタルファースト」、「ワンスオンリー」、「コネクティッド・ワンストップ」とあるが、一般的には市民は市役所へ行く機会が少なく、年に一回程度が多いのではないか。そうした場合、キーワードに関連する書類への複数記入が一か所にまとまるなどの施策が実現した時に、市民がどれくらい恩恵を受けられるかが不明である。
粟津課長	マイナンバーカードの推進方法や普及率によって施策の実行をするなどの指針等が具体的に書かれているのか。
事務局 (戸田市)	マイナンバーカードの普及について計画書への記載はないが、国の動向では令和４年までにほぼ全ての国民に普及するような計画があり、それに則り進める予定である。 また、戸田市でもマイナンバーカードを使った利便性の高いサービスを考え提供する等普及促進も同時進行で行っていく。
粟津課長	コロナ対策としてデジタル化を進めることは理解できるが、利用する人が少ない中で設備投資をすることは、市民の税金を還元できるのか。マイナンバーカードの戸田市内での普及率は指標にいれて行うべきである。例えば年に一度しか市役所を利用しない件についてどう考えるのかについて議論すべきである。
事務局 (戸田市)	コストについては本計画に記載していないが、戸田市ではシステムを導入する際にシステム調達評価を行い、費用対効果を判断して導入している。本計画の施策に関しても同様のプロセスで行う予定である。
委員長	システム導入の考え方として、率先して入れるか、普及後に導入するかという二つの方法がある。前者はコストがかかるが後者は安定的なシステム運用かつコストが下がるため、先進的に導入する事が必ず良いとは限らない。 その他意見については、委員会以降も随時受け付ける形で良いか。
事務局 (戸田市)	委員会後の意見についてそのようにさせていただく。
事務局 (戸田市)	議題２　その他 今後の予定は、本日の内容を踏まえた計画案にてパブリック・コメントを２月１日から３月２日まで実施する。その内容を反映した後完成とし、戸田市情報化推進本部会議に報告する。計画書は３月中の発行予定で、完成した際は委員の皆様に配布する。
大山次長	委員の皆様においては、忌憚ない意見をいただき御礼申し上げる。今後は、先ほどの事務局の説明どおりパブリック・コメントを実施し意見を反映したうえで、計画の策定とする。また、コロナ禍で新しい生活様式に対応しなければならず、行政のデジタル化は急務となっている。本計画の施策について、誠心誠意取り組んでいく。
委員長	他に意見等はないか。 ※質疑なし。
委員長	戸田市第４回情報化推進計画検討委員会を終了する。